

事務事業名	青少年施策推進費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 7 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	青少年を取り巻く諸問題に対処するため、青少年関係機関との連絡調整を図るとともに青少年団体及び青少年育成団体が実施する健全育成事業等に対し、事業費の一部を助成する。また、青少年の健全育成に対する理解を深めるため講演会等を行う。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等							
事業実施内容	青少年団体及び青少年育成団体の活動を支援することで、青少年に多様な地域活動の機会の提供を行った。また、講演会等を開催し、活動の推進を図った。 ・青少年育成市民のつどいの開催(オンライン配信 申込者49人) ・青少年団体への助成(計22団体)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 3,802 千円	事業費節別内訳		主な内容	
		費目	支出済額 (千円)		
		報償費	50 千円		講師謝礼
		旅費	9 千円		経常旅費
		需用費	69 千円	共通物品・事務用品等	
		負担金補助及び交付金	3,674 千円	青少年育成協力活動費、青少年団体育成団体等補助金	
財源内訳	R3年度 支出済額 3,802 千円	事業費節別財源内訳		3,802 千円	
		費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
その他 ()					
一般財源	3,802 千円				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.40人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.40人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.20人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	支出	行政費用 A	12,047	9,335	8,190	7,979
		(1)現金を伴う支出 (千円)	12,117	9,692	8,282	8,280
		事業費(支出済額)	5,853	4,541	3,752	3,802
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	6,264	5,151	4,530	4,478
		①常時勤務職員等の給与等	5,959	4,845	4,259	3,749
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	562
		③退職金相当額	305	306	271	167
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-70	-357	-92	-301
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-70	-357	-92	-301
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他 ()	0	0	0	0
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		28.06 429,317	21.56 433,060	18.82 435,121
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	
	指標名	目標	実績	目標	実績	
上記指標名の設定ができない理由		青少年に対する各地区や各団体の活動をとおして、青少年の健全育成を行っているが、健全育成の達成度を数値で表すことが困難であるため。				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	青少年指導員活動費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 44 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	各地区青少年育成協力会及びPTAからの推薦により県・市が委嘱した青少年指導員が、各地域や市全域において次の青少年の健全育成活動を行う。 ①青少年の体験活動②青少年団体の育成及び支援③青少年に望ましい地域づくりの推進④青少年に関する相談及び支援⑤青少年に関する調査及び情報提供⑥青少年の非行防止を図るための街頭指導						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	その他(要綱等) 神奈川県青少年保護育成条例、藤沢市青少年指導員活動基準要綱						
事業実施内容	青少年指導員協議会事業委託により、各事業の実施や地区における青少年の健全育成及び非行防止を進めた。 ・街頭指導活動(14地区月2回実施) ・研修会(全2回、参加人数述べ199人) ・広報紙発行(年2回)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額(千円)		主要内容
		報償費	13,388 千円		青少年指導員謝礼
		需用費	10 千円		印刷製本費
	14,783 千円	委託料	1,048 千円		青少年指導員協議会事業業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
		費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.50人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
	14,783 千円	国庫支出金		0.00人工	
		県支出金	448 千円	合計	
	その他()		0.50人工		
	一般財源	14,335 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
				会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
		行政費用 A	22,244	21,802	19,109	19,960						
		(1)現金を伴う支出 (千円)	22,324	21,947	19,684	19,959						
		事業費(支出済額)	15,193	15,241	15,154	14,783						
		償還金利息	0	0	0	0						
		人件費合計(①+②+③)	7,131	6,706	4,530	5,176						
		①常時勤務職員等の給与等	6,784	6,307	4,259	4,686						
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	281						
		③退職金相当額	347	399	271	209						
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-80	-145	-575	0						
		①減価償却費	0	0	0	0						
		②退職給与引当金繰入額	-80	-145	-575	0						
		③不納欠損額	0	0	0	0						
		④その他()	0	0	0	0						
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	51.81	429,317	50.34	433,060	43.92	435,121	45.47	438,968		
成果実績	指標名	青少年指導員活動月数(延べ)	目標	2,688	単位	月	2,688	単位	月	2,688	単位	月
		実績	2,676	単位	月	2,670	単位	月	2,587	単位	月	2,580
備考												

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 青少年指導員の多くは、仕事を持ちながら指導員活動に従事している。活動への無理のない範囲での参加等青少年指導員の負担軽減に向けて指導員協議会と検討を行う必要がある。	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	非行防止推進活動費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	002	説明	02	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	駅周辺や公園、青少年が立ち寄る店舗などのパトロールによって、青少年への声かけ指導及び店舗側への協力依頼や改善指導などを行う。また、青少年の非行防止ポスター展を実施し、青少年自身に非行や問題行動について考えてもらうとともに、街頭キャンペーンや講演会「青少年にとってのよい環境を考えるつどい」を開催し、広く市民へ青少年問題の意識啓発を図る。																
対象	1. 個人														市民	438,968	人
根拠法令等	条例(県) 神奈川県青少年保護育成条例																
事業実施内容	キャンペーン、パトロール等事業の実施により青少年の非行防止及び社会環境の浄化を図った。 ・街頭指導活動(昼間実施回数1,327回、声掛け件数93件、夜間実施回数36回、声掛け件数709件) ・街頭指導キャンペーン(全2回、参加人数延べ30名) ・青少年にとってのよい環境を考えるつどい(参加人数220人)																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 2,241 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		報償費	1,343 千円	特別街頭指導員謝礼・講師謝礼
		旅費	93 千円	街頭等指導員普通旅費
		需用費	754 千円	啓発用マスク等
		役務費	51 千円	特別街頭等指導員傷害保険
財源内訳	R3年度 支出済額 2,241 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	697 千円	
その他()				
一般財源	1,544 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	4.10人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	18,270	18,914	18,029	18,796									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	18,350	19,059	18,604	18,795									
		事業費(支出済額)	4,104	4,221	2,692	2,241									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	14,246	14,838	15,912	16,554									
		①常時勤務職員等の給与等	6,784	6,307	4,259	4,686									
		②会計年度任用職員の報酬等	7,115	8,132	11,382	11,659									
		③退職金相当額	347	399	271	209									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-80	-145	-575	0									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	-80	-145	-575	0									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他()	0	0	0	0									
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		42.56	429,317	43.68	433,060	41.43	435,121	42.82	438,968				
成果実績	指標名	街頭指導(昼間・夜間)声掛け件数	目標	1,600	単位	件	1,600	単位	件	1,600	単位	件	1,600	単位	件
		実績	1,218	単位	件	1,288	単位	件	1,111	単位	件	802	単位	件	
成果実績	備考														

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	少年の森事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	003	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 55 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	青少年健全育成の野外活動施設である藤沢市少年の森を維持するため、環境の整備及び用地の継続利用を図る。				
対象	1. 個人	18歳以下の青少年及び青少年育成者(2022年3月31日現在)			74,072 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市少年の森条例、藤沢市少年の森条例施行規則			
事業実施内容	施設的环境整備及び用地の継続利用を図った。 ・園内の修繕 ・森林保険 ・AED設置、土地賃借料の支払い				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額(千円)		主な内容
	21,596 千円	需用費	377 千円		施設修繕費
		役務費	6,741 千円		火災保険料
		使用料及び賃借料	14,478 千円	AED賃借料、土地賃借料	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
		費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
	21,596 千円	分担金・負担金		0.40人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
		県支出金		合計	
	その他()		0.40人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
	一般財源	21,596 千円		会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	20,419	24,292	23,232	25,514					
		(1)現金を伴う支出(千円)	18,980	22,929	21,601	25,512					
		事業費(支出済額)	15,222	19,528	17,978	21,596					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	3,758	3,401	3,623	3,916					
		①常時勤務職員等の給与等	3,575	3,199	3,407	3,749					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	183	202	216	167					
		(2)現金を伴わない支出(千円)	1,439	1,363	1,631	2					
		①減価償却費	1,481	1,481	1,481	1					
		②退職給与引当金繰入額	-42	-118	150	0					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	47.56	429,317	56.09	433,060	53.39	435,121	58.12	438,968			
成果実績	指標名	年間の少年の森利用者数	目標	63,349	単位	63,350	単位	58,415	単位	55,940	単位
			実績	55,850	単位	49,026	単位	52,184	単位	69,245	単位
	備考										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 開設から40年以上が経過し、施設が老朽化しているため、大規模な修繕などが必要になる。	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	地域子どもの家等事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	004	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域における子どもたちの安全・安心な居場所、健全育成の場として、地域子どもの家及び児童館の施設環境の維持・保全を図る。						
対象	1. 個人	地域子どもの家:小中学生、付添人のいる幼児、青少年団体、児童館:0~18歳の方(幼児は保護者同伴)(2022年3月31日現在)				74,072	人
根拠法令等	法律等	藤沢市地域子どもの家条例、藤沢市児童館条例、児童福祉法					
事業実施内容	地域子どもの家及び児童館の施設環境の維持・保全を図った。 ・施設の修繕 ・児童館用地等草刈り ・シロアリ調査						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 15,151 千円	事業費節別内訳		主な内容	
		費目	支出済額 (千円)		
		需用費	4,446 千円		施設修繕費
		役務費	1,442 千円		児童館用地等草刈り業務
財源内訳	R3年度 支出済額 15,151 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			令和3年度 常時勤務職員※ 0.30人工
		使用料・手数料			短時間勤務職員(再任用・任期) 0.00人工
		国庫支出金		合計 0.30人工	
		県支出金		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
		その他 ()		会計年度任用職員(配置数) 0.00人	
		一般財源	15,151 千円		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	52,898	62,033	49,933	17,787									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	17,773	26,322	18,690	18,088									
		事業費(支出済額)	12,570	21,074	15,067	15,151									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	5,203	5,248	3,623	2,937									
		①常時勤務職員等の給与等	4,950	4,936	3,407	2,812									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	253	312	216	125									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	35,125	35,711	31,243	-301									
		①減価償却費	35,183	35,707	31,667	0									
		②退職給与引当金繰入額	-58	4	-424	-301									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他 ()	0	0	0	0									
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	123.21	429,317	143.24	433,060	114.76	435,121	40.52	438,968							
成果実績	指標名	年間の地域子どもの家及び児童館利用者数	目標	483,160	単位	人	483,160	単位	人	472,370	単位	人	470,000	単位	人
			実績	470,018	単位	人	427,804	単位	人	121,164	単位	人	248,663	単位	人
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 施設が老朽化している地域子どもの家と児童館の施設環境の維持にあたっては、効率的な施工方法を検討し、施設や遊具の長寿命化を図る必要がある	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	地域子どもの家等整備事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	004	説明	02	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	令和 3 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域における子どもたちの安全・安心な居場所や健全育成の場として、地域子どもの家及び児童館の設備環境の整備等を行う。						
対象	1. 個人	地域子どもの家:小中学生、付添人のいる幼児、青少年団体 児童館:0~18歳の方(幼児は保護者同伴)(2022年3月31日現在)				74,072 人	
根拠法令等	法律等	藤沢市地域子どもの家条例、藤沢市児童館条例、児童福祉法					
事業実施内容	地域子どもの家及び児童館の設備環境の整備等を行った。 ・地域子どもの家の熱中症対策 ・石川児童館屋根修繕工事 ・旧藤沢子どもの家石綿含有調査						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	22,934 千円	費目	支出済額(千円)		令和3年度
		需用費	826 千円		常時勤務職員※
		委託料	768 千円		短時間勤務職員(再任用・任期)
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		合計	
	22,934 千円	費目	支出済額(千円)	0.40人工	
		分担金・負担金		0.00人工	
		使用料・手数料		0.40人工	
		国庫支出金			
	県支出金				
	その他(地方債)	17,000 千円			
	一般財源	5,934 千円			

令和3年度	0.40人工
常時勤務職員※	0.40人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.40人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コスト支出	行政費用 A	0	0	129,241	24,739
	(1)現金を伴う支出(千円)	0	0	127,100	26,850
	事業費(支出済額)			117,136	22,934
	償還金利息			0	0
	人件費合計(①+②+③)	0	0	9,964	3,916
	①常時勤務職員等の給与等			9,369	3,749
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0
	③退職金相当額			595	167
	(2)現金を伴わない支出(千円)	0	0	2,141	-2,112
	①減価償却費			0	0
	②退職給与引当金繰入額			2,141	-2,112
	③不納欠損額			0	0
④その他()			0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		0.00 429,317	0.00 433,060	297.02 435,121	56.36 438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績
	上記指標名の設定ができない理由	施設の整備及び付帯設備の改修等のため、目標や実績を設定することが困難なため			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	有
	事業の方向性	現状維持	
	今後の方針		

屋根などの施設・設備の老朽化が課題となっている。施設の長寿命化を目的とした修繕計画を作成するとともに、複合化による移転の機会があれば前向きに検討を進めたい。

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	(公財)藤沢市みらい創造財団青少年事業関係費										担当	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	005	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 7 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	青少年の主体性や創造性を育み、心豊かに育つための環境づくり等を推進している(公財)藤沢市みらい創造財団へ青少年施設の管理運営と青少年の健全育成事業等を委託する。 ※指定管理期間:平成30年度～令和4年度まで						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市青少年会館条例、同施行規則、藤沢市少年の森条例、同施行規則、藤沢市地域子どもの家条例、同施行規則、藤沢市立児童館条例、同施行規則						
事業実施内容	(公財)藤沢市みらい創造財団を指定管理者として青少年等の活動拠点である青少年施設の管理運営及び青少年育成事業等を行うとともに、「成人式事業」「親子ふれあいコンサート事業」などを委託した。 ※成人式事業 参加者 1,972人 ※親子ふれあいコンサート事業 参加者 380人						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		358,821 千円	青少年会館、児童館、少年の森、地域子どもの家、SL広場等 AED賃借料 少年の森宿泊研修施設運営負担金、(公財)藤沢市みらい創造財団運営補助金 SL広場保険
		費目	支出済額(千円)		
		委託料	343,780 千円		
		使用料及び賃借料	73 千円		
		負担金補助及び交付金	14,928 千円		
		役務費	40 千円		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		358,821 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) 令和3年度 常時勤務職員※ 0.80人工 短時間勤務職員(再任用・任期) 0.40人工 合計 1.20人工 ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.20人
		費目	支出済額(千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料	718 千円		
		国庫支出金			
		県支出金	544 千円		
	その他(寄付金、雑入)	302 千円			
	一般財源	357,257 千円			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	345,339	341,722	336,220	368,839									
		(1)現金を伴う支出(千円)	341,301	338,191	330,664	369,442									
		事業費(支出済額)	334,652	327,230	314,903	358,821									
		償還金利息	0	6,101	6,703	0									
		人件費合計(①+②+③)	6,649	4,860	9,058	10,621									
		①常時勤務職員等の給与等	6,325	4,571	8,517	9,724									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	562									
		③退職金相当額	324	289	541	334									
		(2)現金を伴わない支出(千円)	4,038	3,531	5,556	-603									
		①減価償却費	4,113	4,099	4,049	0									
		②退職給与引当金繰入額	-75	-568	1,507	-603									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他()	0	0	0	0									
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	804.39	429,317	789.09	433,060	772.70	435,121	840.24	438,968							
成果実績	指標名	青少年施設利用者数	目標	470,000	単位	人	450,000	単位	人	450,000	単位	人	450,000	単位	人
		実績	434,426	単位	人	397,004	単位	人	195,636	単位	人	357,355	単位	人	
成果実績	備考														

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 令和3年度は、コロナ禍においても開館時間の縮小や利用者の人数制限等の感染症対策を行いながら青少年施設を運営。利用者数は目標を下回ったが令和2年度と比較すると増加している。	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	子ども・若者育成支援事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	006	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	生きづらさや働くことに不安や困難を抱える若者の自立をサポートするために相談や個別伴奏型支援を実施する。なお、「湘南・横浜若者サポートステーション」及び「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」と連携し、相談をはじめ、個別の相談内容に応じた支援を継続的に実施する。						
対象	1. 個人	市内在住の概ね15歳から30歳代までの若者とその家族			約	245,000	人
根拠法令等	法律等	子ども・若者育成支援推進法					
事業実施内容	・ユースサポートふじさわの実施 相談件数延べ770件 支援実施者数63人 進路決定者数16人 個別支援計画作成件数38件 同行支援実施件数21件 関係機関との連携延べ676件 ・地域出張相談会の実施 12か所						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	11,490 千円	費目	支出済額 (千円)		主要内容
		委託料	11,490 千円		若者サポート事業業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	11,490 千円	費目	支出済額 (千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.70人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
		県支出金	5,745 千円	合計	
	その他 ()		0.70人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
	一般財源	5,745 千円		会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	16,790	16,873	18,070	18,344									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	19,029	17,410	17,831	18,343									
		事業費(支出済額)	11,320	11,385	11,490	11,490									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	7,709	6,025	6,341	6,853									
		①常時勤務職員等の給与等	7,334	5,667	5,962	6,561									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	375	358	379	293									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-2,239	-537	239	1									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	-2,239	-537	239	1									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
④その他 ()	0	0	0	0											
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	39.11	429,317	38.96	433,060	41.53	435,121	41.79	438,968							
成果実績	指標名	進路決定者数	目標	40	単位	人	30	単位	人	30	単位	人	30	単位	人
		実績	18	単位	人	19	単位	人	18	単位	人	16	単位	人	
備考	ユースサポートふじさわは、不安や悩みを抱える若者や保護者にとっての居場所やコミュニケーションの場にもなっている。														

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 切れ目のない支援を目的とし、スクールソーシャルワーカーとの連携強化を進めたい。	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	放課後子ども教室推進事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	007	説明	02	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、小学校の余裕教室等を有効活用し、放課後の児童に地域のボランティアが見守る居場所(遊び場)を提供する。 ◎日時:原則給食のある平日の放課後。◎場所:実施小学校の余裕教室・体育館・校庭。◎対象:実施小学校区在住の児童。						
対象	1. 個人	事業実施小学校区の児童数(2021年5月1日現在)				1,618	人
根拠法令等	その他(要綱等)放課後子ども総合プラン・各小学校区放課後子ども教室推進事業に関する実施要綱						
事業実施内容	・小系、亀井野及び富士見台小学校区において放課後子ども教室を実施した。 令和3年度利用児童数 小系小学校区 1,154人、亀井野小学校区 237人、富士見台小学校区 662人						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	1,507 千円	費目	支出済額(千円)		主な内容
		報償費	1,052 千円		見守る人謝礼
		役務費	215 千円		通信費、保険料
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	1,507 千円	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.90人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
		県支出金	676 千円	合計	
その他()		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く			
一般財源	831 千円	会計年度任用職員(配置数)	0.30人		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
		行政費用 A	11,545	9,173	8,977	11,464						
		(1)現金を伴う支出 (千円)	10,664	9,468	8,678	11,162						
		事業費(支出済額)	2,955	2,665	1,431	1,507						
		償還金利息	0	0	0	0						
		人件費合計(①+②+③)	7,709	6,803	7,247	9,655						
		①常時勤務職員等の給与等	7,334	6,399	6,814	8,435						
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	843						
		③退職金相当額	375	404	433	376						
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	881	-295	299	303						
		①減価償却費	0	0	0	0						
		②退職給与引当金繰入額	881	-295	299	303						
		③不納欠損額	0	0	0	0						
		④その他()	0	0	0	0						
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	26.89	429,317	21.18	433,060	20.63	435,121	26.12	438,968				
成果実績	指標名	目標	9,000	単位	人	9,000	単位	人	9,000	単位	人	
		実績	10,398	単位	人	9,529	単位	人	1,384	単位	人	2,053
備考												

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		事業拡大	
今後の方針	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき整備を行う。		

6. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2022/8/17
----	---------	----	--------	-----	-----------